



## 振り返ることと努力すること

学級タイムの時に、後期中間考査後の特別時間割を配布したので、その計画を立てていることだろう。

基本は、やはり理・社だから、先ず取るべき理・社の科目を押さえた上で、その時間の合間に、バランス良く国数英の演習を入れていくとよいだろう。国数英に関しては、

- 1 不得意科目や、自分では勉強を後回しにしてしまいがちな科目を選択し、選択した時間内にきっちり勉強することで、勉強時間を確保する
- 2 得意科目を選択して、その科目の勉強はその演習だけにして、あとは不得意科目や理・社の勉強に回す

といった考え方ができる。とにかく、これからは理・社が勉強のメインになるが、そのことで国数英を疎かにすることのないように、週に最低でも1日(2~3時間程度)は、必ずどの科目にも手をつけるようにしたい。

まあ、そんなことを踏まえながら、この週末には、もう一度現在の自分の学習状況を振り返って、これからの勉強の計画を再検討・修正してみしてほしい。当然のことながら、1月いっぱいには登校日なので、学校での学習をメインにした計画を立てること。

\*

13日(木)の学級日誌に、●●くんが

「面談して、というか、受験カレンダーを書いて、もっと意識が上がりました!」と書いているが、何事も具体的に行動を始めてみることで見えてくることもあるものだ。その意味で、これからは「赤本」などを手にとって見るということも大切だろう。実際にその大学の過去問に触れることで、自分が目

指すべき目標がどのようなレベルなのか、具体的に意識できるようになるわけだし、そこに到達するために自分がしなければならないことも、再度意識化することができるはずだ。

今進めている面談では、受験校の仮決定がメインテーマだが、同時に、その仮決定した大学への受験準備の状況についても確認している。こう時に自分の勉強の様子を振り返ってみると、実は大切な科目を後回しにしているとか、ある科目に重点的に取り組んでいる一方で、この科目の勉強時間が最近不足がちになってしまっている、といったことを改めて認識できたりするからである。だから、面談を通して自分の課題が見つかった人は、その改善にしっかり取り組んでほしい。

\*

昨日、放課後補習の後、国語ではトップクラスの成績をとっている生徒が、「最近、調子悪くて正解できないんです…」と相談にやってきた。私の答えは「今、調子悪くてよかったじゃないか。あと2ヶ月もすると絶好調になるという前兆だ。くじけず、今まで通り、やるべきことを続けるしかないよ」というものである。ちなみに「先生、今絶好調!」という生徒諸君には、「お〜、国語の調子は安定しているから、このまま2ヶ月後も絶対安心だね!」と言うことにしている。

要は、私はイイカゲンである…ということではなく(イイカゲンだが…笑)、点数なんでもものは上下するものなのだから、上下してたとえ「下」になってしまったとしても、大丈夫だといえる実力をつけることが大切だということである。ひたすら努力あるのみ!